

【NEWS RELEASE】

2021年10月29日

各位

株式会社三井住友銀行

総合エナジー株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、総合エナジー株式会社（代表取締役：狩野 一郎）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、総合エナジー株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

① 災害対応型ガソリンスタンドの運営による地域インフラの維持と災害適応能力の強化への貢献

目標 11 住み続けられる まちづくりを	11.7 2030年までに、女性、子供、高齢者および障がい者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。
	11.5 2030年までに、貧困層および脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害等の災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。
目標 8 働きがいも 経済成長も	8.5 2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用および働きがいのある人間らしい仕事ならびに同一労働同一賃金を達成する。

② LEDの普及推進における省エネルギー化への貢献

目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
--------------------------------	--------------------------------------

三井住友銀行では、「SDGs 推進融資」により、本業を通じ、SDGs が達成される社会の実現に貢献をしております。



総合エネルギー八本松給油所
エネルギー自立型災害対応 SS への改修工事がガソリンスタンドでは初めて環境省の建築物等の脱炭素化・レジリエンス強化促進事業補助事業として採択されました。



総合エネルギー坂亀石山油槽所
地域の物流基地としてエネルギーの安定供給に努めています。



総合エネルギー新大州橋給油所
各給油所は住民拠点 SS として経産省より指定されており、広島県東広島市および広島県安芸郡府中町、坂町とは防災協定を締結しています。

<ご参考>

※ SDGs とは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を 2030 年までに目指す 17 の目標と 169 のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。